

薬学研究科ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与に関する方針）

「至誠一貫」の精神のもと、高度な薬学研究に取り組み、国民の健康増進と福祉に寄与できる優れた人材を育成することを目標とする。この目標を達成した者に、博士（薬学）を授与する。

1. 医療・健康・生命科学の中において薬学に関する深い学識と専門性、高度な思考・判断能力を有する。
2. 多様な学術的連携・協調をもち、薬学領域の研究を先端的・独創的に推進する能力を有する。
3. 円滑なコミュニケーションのもと、国際的視野に立ち、成果を社会へ情報発信できる。
4. 生涯にわたり研鑽をし、社会との架け橋となる自覚を有する。
5. 博士（薬学）として強い責任感、高い倫理観、豊かな人間性を持ち、薬学領域でリーダーシップを発揮し、後進を育成できる能力を有する。